


ティーチング・ポートフォリオ兼教員プロフィール

	<p>保育科 教授</p> <p>雨宮 基博 (あめみや もとひろ)</p> <p>AMEMIYA Motohiro</p>
所属	保 育 科
学位	<p>教育学士</p> <p>修士 (教育学) (広島大学)</p> <p>修士 (学術) (放送大学)</p>
資格・免許	<p>高等学校教諭二級普通免許状 (理科) (山梨県教育委員会 昭 62 高 2 普第 283 号)</p> <p>小学校教諭専修免許状 (広島県教育委員会 平 2 小専第 9 号)</p> <p>中学校教諭専修免許状 (理科) (広島県教育委員会 平 2 中専第 56 号)</p> <p>学校心理士 (登録番号 第 97009 号)</p> <p>公認心理師 (登録番号 第 43161 号)</p> <p>臨床心理士 (登録番号 第 42164 号)</p>
学歴・職歴	<p><学歴></p> <p>1988 年 3 月 山梨大学教育学部教育科学科 (理科専攻) 卒業 (教育学士)</p> <p>1990 年 3 月 広島大学大学院学校教育研究科学校教育専攻修士課程 修了 (修士 (教育学))</p> <p>2012 年 3 月 放送大学大学院文化科学研究科文化科学専攻 臨床心理学プログラム修士課程 修了 (修士 (学術))</p> <p><職歴></p> <p>1991 年 4 月 石和町立石和南小学校 教諭 (1993 年 3 月まで)</p> <p>1993 年 4 月 秋山村立浜沢小学校 教諭 (1995 年 3 月まで)</p> <p>1995 年 4 月 秋山村立栗谷小学校 教諭 (1997 年 3 月まで)</p> <p>1997 年 4 月 国際基督教大学 教育研究所 研究員 (山梨県教育委員会内地留学生) (平成 1998 年 3 月まで)</p> <p>1998 年 4 月 国際基督教大学 教育研究所 研究員 (非常勤) (2004 年 3 月まで)</p> <p>1998 年 4 月 大月市立下和田小学校 教諭 (2002 年 3 月まで)</p> <p>2002 年 4 月 上野原市立四方津小学校 教諭 (2010 年 3 月まで)</p> <p>2004 年 4 月 国際基督教大学 高等臨床心理学研究所 准研究員 (非常勤) (2013 年 3 月まで)</p> <p>2010 年 4 月 上野原市立島田小学校 教諭 (2014 年 3 月まで)</p> <p>2014 年 4 月 上野原市立上野原西小学校 教諭 (2016 年 3 月まで)</p> <p>2016 年 4 月 都留市立旭小学校 教頭 (2018 年 3 月まで)</p> <p>2018 年 4 月 上野原市立上野原小学校 教頭 (2020 年 3 月まで)</p> <p>2020 年 4 月 道志村立道志小学校 校長 (2022 年 3 月まで)</p> <p>2022 年 4 月 上野原市立上野原小学校 校長 (2025 年 3 月まで)</p> <p>2025 年 4 月 山梨学院短期大学 保育科 教授 (現在に至る)</p> <p>2025 年 4 月 昭和女子大学 人間社会学部 初等教育学科 非常勤講師 (担当科目: 教育評価) (現在に至る)</p>

担当科目	<p><保育科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談の基礎 子ども家庭支援の心理学 臨床心理学 こころの科学 子どもの理解と援助 知的生活の探究 教育実践演習（幼・小） 社会人基礎力養成講座Ⅰ 社会人基礎力養成講座Ⅱ 基礎演習 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ <p><専攻科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨床心理学特論 教育課程特論 教育研究法
専門分野	教育相談 臨床心理学
現在の研究テーマ	<p>保育者・教師の教育的対話力育成プログラムに関する研究</p> <p>子どもの心を育てる心理教育プログラム・学級経営アプローチに関する研究</p> <p>学校管理職のリーダーシップと学校組織開発に関する研究</p>
競争的資金等の研究課題	—
所属学会	<p>日本教育心理学会 日本心理臨床学会 日本集団精神療法学会</p> <p>国際力動的心理療法学会 日本学校メンタルヘルス学会</p>
メッセージ	<p>心理臨床家としての専門性を磨きながら教育現場で働いてきました。心理臨床家としての専門性の追求は、現代の保育・教育現場の様々な困難課題に取り組む上で豊かな示唆と能力発揮の底力を支えてくれました。</p> <p>短期大学での様々な学びは、保育者・教育者としての専門性を磨いていく土台づくりとなるでしょう。学生のみなさん一人ひとりの個性、持ち前の元気を尊重しながら、一人ひとりが短期大学の様々な学びを楽しみ、みんなで学びの喜び・成果を分かち合い、子どもたち一人ひとりの豊かな成長を支える「保育者・教育者」としての土台づくりを支えていきたいと思いをします。</p>

教育	
2025年4月～2026年3月	
教育方針	<p>学生の皆さん一人一人の主体性・自主性を尊重し、一人一人の学びの深まりと同時に、学び合い・深め合う協働的学びの充実を図っていきたいと思います。「保育・教育に心理臨床を生かす」という視点をもって学生の実践力を高められるよう、授業構成・授業実践を進めていきたいと思います。</p>
授業	<p>授業の工夫</p> <p><全体> 授業目的・目標に基づいて指導計画を確認しながら個々の学生が見通しをもって学習に取り組めるようにした。授業中の「今、ここで」の学びを育むためにグランドルールの共有・理解を図りながら、個々の学生の主体性と学生間の協働を促すことに留意した。小グループワークを適宜取り入れ、その場での学生のコメントを拾いながら、学生の主体的学びと協働的学びの一体的充実を図る授業展開を図り、積極的に学び合う姿勢の醸成に努めた。また、学生の授業の振り返りに記されたコメントをまとめて編集し、毎回、授業の初めに共有し、学びの連続性と蓄積の積み重ねに留意して授業を進めている。</p> <p><教育相談の基礎> 「教育相談」の基礎知識だけでなく、その基盤となる対話の基本技術・基本態度を培うミニ対話ワークを取り入れて授業を展開した。対話ワークの個々の気づきを全体で共有しながら、基本技術・基本態度の体験的理解を図る工夫を行った。また、各回のテーマに即して、保育・教育現場の事例を提示し、子どもの理解と保育者・教師の支援のあり方について学生の学びを深めるような授業構成に留意し、実践的に知識を活用するように進めている。</p> <p><子ども家庭支援の心理学> 教科書のポイントをまとめたスライド資料を提示し、知識を整理すると同時に、自身の理解を自分の言葉で言語化できるようにペアワーク、さらに小グループワークを通して、実践力を高められるようにした。本授業で扱う現代的テーマに関わるテレビドラマ、映画などの映像資料も提示しながら、理解を深めるように工夫している。</p> <p><臨床心理学> ピアヘルパーの資格取得を目指しているため、ガイダンス・カウンセリングの基礎知識だけでなく基本技術・基本態度を体験的・計画的に学習できるように授業構成を工夫した。ピアヘルパーに関わる基礎知識はテキストブックに基づいたスライド資料にまとめて、確認しながら知識の蓄積・整理を促した。カウンセリングの基本態度に関わる体験的エクササイズを取り入れたり、対人関係能力の基盤を培うためにグループ構成を適宜変えて環境構成を工夫したりして授業を進めている。</p>

教育（つづき）		
2025年4月～2026年3月（つづき）		
授業（つづき）	授業の工夫（つづき）	<p><こころの科学></p> <p>心理学に関わる日常生活の様々なテーマにスポットを当てて、学生の心理学に関する興味・関心を高め、さらに現代心理学の研究例を紹介して興味・関心を深められるように授業構成を工夫した。また、適宜、各心理学領域と臨床心理学の知見を関連付けて、日常生活に活かし、自分自身をいかに豊かにしていくか学生に考えさせるようにしている。</p> <p><知的生活の探求></p> <p>「知と社会の関係」をテーマに、今「当たり前」になっていることも、歴史的に見たらどうか、社会との関係で見たらどうかといった視点で、学びを進めた。個人・グループワークをしながら、「当たり前」のルーツを探り、その本質をつかみ、今の私たちができることは何か、未来志向の営み、私たちの幸福追求の営みとして学びを深めた。適宜、映画などの映像資料も視聴しながら、興味・関心をもって学びを進められるようにしている。</p> <p><教育実践演習></p> <p>保育・教育現場等の実習経験の中で意識した「自己のよさ」「自己課題」について、グループ討論・保育者の対話力トレーニング・模擬保育などの演習活動を通して、「自己のよさ」の伸長・「自己課題」の克服をすすめるチャレンジを促し、保育者・教育者としての実践力の基盤づくりを培えるように授業構成を工夫して進めている。</p>
	授業改善のための取組み	<p>各担当授業においては、毎回、90分間の授業テーマ・目標、活動計画を示し、見通しをもって学習に臨めるように工夫している。グランドルールを提示し「今、ここで」の気づき・学びを授業に生かせるように言語化を支援し、拾い上げるように努めている。また、授業の最後に本時の学びの振り返り時間を設けている。個々の学生の振り返りにはコメントを付し、一人ひとりの学びの意味づけ・意欲づけ・学びの拡充を支援している。また、一人ひとりの学びの成果を生かすために、前時の学習の振り返りを編集し、個々の学びの成果・発見を全体で共有し、学びの積み重ねを促している。</p>

教育（つづき）		
2025年4月～2026年3月（つづき）		
ゼミ	ゼミ活動 （卒業演習） （修了研究）	<卒業演習 I > 前半は各ゼミ共通の数理・データサイエンス、AI教育プログラムに取り組んだ。後半はゼミ活動が卒業に向けた短期大学の基地となるようにゼミ内の仲間づくり活動をしたり、卒業レポートに向けた計画の共有と各自の関心の焦点化のために文献研究を支援したりした。
	卒業レポート・ 修了研究テーマ	—
課外活動	—	
2025年3月以前		
主な教育業績	—	

研究		
2025年4月～2026年3月		
タイトル(単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
(その他：実践報告)(査読付) 実習を通して保育学生が課題とした幼児との典型的対話場面への応答構成法の適用の実践報告 (単独)	2026年 3月	山梨学院短期大学研究紀要 第46巻
(その他：学会発表) 教育的対話力育成オープングループに関する臨床心理学的研究～教師のリーダーシップ力開発の視点から～ (単独)	2025年 10月	日本教育心理学会 第67回総会発表論文集 (アクトシティ浜松：静岡)
(その他：自主シンポジウム) The teacher's presence and collaboration with clinical psychologist (教師の存在感と心理臨床家との協働) (単独)	2025年 9月	国際力動的心理療学会第29回年次大会、企画者・話題提供者 (東京医科大学：東京)
2025年3月以前(主なもの)		
タイトル(単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
(著書) 『心の安全空間 家庭・地域・学校・社会、現代のエスプリ別冊』 (共著)	2005年 10月	至文堂 ・担当部分：学級集団育成(初等教育) (pp. 130-139)
(著書) 『集団精神療法の基礎用語』 (共著)	2003年 9月	金剛出版 ・担当部分：学級集団精神療法 (p. 159)
(学術論文) 教師の職業アイデンティティの危機から自己成長に至る鍵 (単著)	2013年 3月	Open Forum 第9号 放送大学大学院研究成果報告 (pp. 76-77)
(学術論文) 学校危機介入 (共著)	2013年 3月	「心理面接『安全空間創成の対話法』モノグラフ2号 国際基督教大学 21世紀COEプログラム「平和・安全・共生」研究教育「心的安全空間の生成」グループ(際基督教大学高等臨床心理学研究所編) (pp. 151-161)

研究 (つづき)		
2025年3月以前 (主なもの) (つづき)		
タイトル (単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
(学術論文) 学級集団アプローチ (単著)	2011年11月	「心的安全空間『人間の安全保障』の基盤」モノグラフ1号 国際基督教大学21世紀COEプログラム「平和・安全・共生」研究教育「心的安全空間の生成」グループ (国際基督教大学高等臨床心理学研究所編) (pp. 124-137)
(学術論文) 心的安全空間の概念化とその測定基盤の検討 (共著)	2005年	総合保健科学(広島大学保健管理センター研究論文集 21巻) (pp. 7-18)
(学術論文) 学級集団への集団精神療法の適用(2) - 潜伏期における攻撃性の表現の意義 - (共著)	2003年3月	国際基督教大学学報 1-A 教育研究 45巻 (pp. 93-103)
(学術論文) 学級集団への集団精神療法の適用(1) - 否定的感情表現とその教育的展開 - (共著)	2001年3月	国際基督教大学学報 1-A 教育研究 43巻 (pp. 133-145)
(学術論文) 教師の作文評価に関する研究 (共著)	1992年3月	広島大学学校教育学部紀要 第I部 14 (pp. 179-188)
(その他:外部資金研究報告) 教師力育成オープン・グループの実践 (単独)	2025年3月	令和6年度日本教育公務員弘済会教育研究助成事業(個人・グループ研究助成)
(その他:教育委員会等指定研究報告) 令和6年度「自ら進んで考え、自他と対話しながら課題を解決しようとする子供の育成～『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的充実を図った授業づくりをとおして～」 (共同)	2025年2月	山梨県教育委員会指定 令和6年度「新たな学びの姿に向けた授業改善推進事業」報告書

研究（つづき）		
2025年3月以前（主なもの）（つづき）		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（その他：教育実践論文） 小学校教職員組織における教育力向上・組織開発モデル構築の試み （単独）	2022年 2月	日本教育公務員弘済会教育研究論文 （奨励賞受賞）
（その他：外部資金研究報告） 「共感的理解に基づいた教育的対話力」育成プログラムの実践 （単独）	2019年 2月	令和元年度日本教育公務員弘済会教育研究助成事業（個人・グループ研究助成）
（その他：外部資金研究報告） 複雑化・多様化する知的特別支援学校における「チーム学校」実現に向けた基礎研究 （共同）	2017年	平成29年度公益財団法人文教協会研究助成
（その他：教育委員会等指定研究報告） 令和5年度「自ら進んで考え、自他と対話しながら課題を解決しようとする子供の育成～『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的充実を図った授業づくりをとおして～」 （共同）	2024年 2月	山梨県教育委員会指定 令和5年度「新たな学びの姿に向けた授業改善推進事業」報告書
（その他：教育委員会等指定研究報告） ふるさと学習×プログラミング学習 （共同）	2022年 3月	山梨県教育委員会指定 令和3年度「先進的教育活動モデル事業」報告書
（その他：教育委員会等指定研究報告） 自ら考え、共に学びを深め合う子どもの育成～ICT 機器の効果的活用を図った「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくり～ （共同）	2022年 3月	山梨県教育委員会指定 令和3年度「深い学びの実現に向けた ICT 活用推進事業」報告書
（その他：教育委員会等指定研究報告） 一人一人の児童の心の安全・安心を守る体制づくり～心を育てる教師力の育成と学校組織開発～ （単独）	2021年 2月	山梨県PTA親子安全会 2020年度「不登校児童生徒対策推進事業」活動状況報告書

研究 (つづき)		
2025年3月以前 (主なもの) (つづき)		
タイトル (単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
(その他：教育委員会等指定研究報告) 『地域と協働で子どもを育むコミュニティ・スクール』～保護者・地域と協働し、地域の教育資源を活用することを通して～ (単独)	2017年	平成29年度山梨県南都留地域教育フォーラム提案書
(その他：学会発表) 共感的理解に基づいた教育的対話力育成プログラムの効果 (単独)	2022年 8月	日本教育心理学会第64回総会発表論文 (オンライン)
(その他：学会発表) ”Effect of school managers’ nurtured ancillary ego function for teacher crisis” 教師危機に対する管理職の養育的補助自我機能の効果 (単独)	2022年 7月	国際力動的心理療法学会第26回年次大会抄録集 (p.35) (兵庫教育大学：神戸)
(その他：学会発表) ”Effect of creating safe space through school managers’ intervention for teacher crisis” 教師危機に対する管理職の介入による安全空間生成の効果 (単独)	2019年 11月	国際力動的心理療法学会第25回記念大会抄録集 (p.37) (東京医科大学：東京)
(その他：学会発表) 小1プロブレムに関する一考察ー心理教育プログラムの実践事例の検討からー (単独)	2016年 11月	国際力動的心理療法学会第22回年次大会抄録集 (p.20) (東京大学・東京工業大学：東京)
(その他：学会発表) 教師の職業アイデンティティに関する臨床心理学的研究(2)～教師グループの実践事例の分析を通して～ (単独)	2013年 1月	日本学校メンタルヘルス学会第16回プログラム・抄録集 (p.51) (広島市立大学：広島)

研究 (つづき)		
2025年3月以前 (主なもの) (つづき)		
タイトル (単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
(その他：学会発表) 教師の職業アイデンティティに関する臨床心理学的研究(1)～危機から自己成長へのプロセスの分析を通して～ (単独)	2012年 3月	日本学校メンタルヘルス学会第15回プログラム・抄録集 (p. 52) (国立オリンピック記念青少年総合センター：東京)
(その他：学会発表) 『力動的対話基本過程』に基づく教師対話力プログラムの促進要因の抽出 (共同)	2011年 11月	日本教育心理学会第53回総会発表論文集 (p. 105) (北海道学校心理士会・北翔大学：札幌)
(その他：学会発表) ” The Application of Group Psychotherapy to Elementary School Classes” (単独)	2008年 11月	8th, Pacific Rim Regional Congress of International Association for Group Psychotherapy and Group Processes International Association for Group Psychotherapy and Group Processes, PRRC IADP 2008 Congress Program & Abstracts (p. 70) (Kunibiki Messe, Matue, Japan)
(その他：学会発表) 学級集団への集団精神療法の適用(4)－『心的安全空間』生成過程の検討 (単独)	2006年 9月	日本教育心理学会第48回総会発表論文集 (p. 620) (岡山大学：岡山)
(その他：学会発表) 学童期の学級マネジメントの事例研究(1)－危機的グループプロセスへの道具的介入を基点にした『心的安全空間』生成過程の検討－ (共同)	2005年 6月	第22回日本集団精神療法学会発表論文集 (p. 55) (札幌コンベンションセンター：札幌)
(その他：学会発表) 学級集団への集団精神療法の適用(3)－グループ発達と治療・教育的要因の検討－ (単独)	2004年 10月	日本教育心理学会第46回総会発表論文集 (p. 322) (富山大学：富山)

研究 (つづき)		
2025年3月以前 (主なもの) (つづき)		
タイトル (単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
(その他：学会発表) 学級集団への集団精神療法の適用(2)－学級集団精神療法のグループ発達過程の検討－ (単独)	2003年 8月	日本教育心理学会第45回総会発表論文集 (p. 519) (大阪教育大学：大阪)
(その他：学会発表) いじめの心理力動と介入方法の検討 (共同)	2001年 9月	日本教育心理学会第43回総会発表論文集 (p. 489) (愛知教育大学：名古屋)
(その他：学会発表) 集団精神療法の学級集団への適用の意義(1)－いじめ力動(スケープゴート)への介入を通して－ (共同)	1999年 8月	日本教育心理学会第41回総会発表論文集 (p. 213) (兵庫教育大学・甲南大学：神戸)
(その他：学会発表) 学級集団への集団精神療法の適用(1)－否定的感情表現とその教育的展開－ (共同)	1999年 3月	日本集団精神療法学会第16回日本集団精神療法学会発表論文集 (p. 16) (ウイングス京都：京都)
(その他：学会発表) 科学的思考の発達に及ぼす理科教育の指導方法に関する教育心理学的研究 (共同)	1990年 10月	中国四国心理学会論文集 第23巻 (p. 48) (徳島大学：徳島)
(その他：学会発表) 印象形成に及ぼす身体言語の効果に関する研究－脚姿勢からの検討－ (共同)	1989年 10月	中国四国心理学会論文集 第22巻 (p. 56) (広島大学：広島)
(その他：学会発表) 教員適性の発見と実践的指導力養成に関する研究(1)－教員養成学部学生に見られる教員適性観－ (共同)	1989年 10月	中国四国心理学会論文集 第22巻 (p. 37) (広島大学：広島)

研究 (つづき)		
2025年3月以前 (主なもの) (つづき)		
タイトル (単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
(その他：学会発表) 教員適性の発見と実践的指導力養成に関する研究(2)－教育実習による教員適性観の変化－ (共同)	1989年10月	中国四国心理学会論文集 第22巻 (p. 38) (広島大学：広島)
(その他：学会発表) 作文の評価に関する研究 (共同)	1988年11月	中国四国心理学会論文集 第21巻 (p. 45) (広島女子大学：広島)
社会貢献		
産官学連携、高大連携、研修会講師、学外委員会活動、学会活動、講演会、等		
2025年4月～2026年3月		
<ul style="list-style-type: none"> ・大月市学校経営研究会 (大月市校長会)「若手教師支援と校長ができること～そのとき、どうする?～」研修会講師 (2026年1月) ・山梨県臨床心理士会学校臨床心理士委員会 令和7年度第8回学校臨床心理士研究会「教師の存在感と心理臨床家との協働」話題提供者 (2025年12月) 		
2025年3月以前 (主なもの)		
<ul style="list-style-type: none"> ・山梨県公立小中学校校長会 副会長 (2024年4月～2025年3月) ・関東甲信越地区公立小学校長会連絡協議会 理事 (2024年4月～2025年3月) ・山梨県安全・安心まちづくり推進会議 委員 (2024年4月～2025年3月) ・山梨子どもの死亡事例検証制度検討会 委員 (2024年4月～2025年3月) ・山梨県ヤングケアラー支援ネットワーク会議 委員 (2024年4月～2025年3月) ・山梨県消費生活審議会 委員 (2024年4月～2025年3月) ・上野原市中学校部活動地域移行に係る検討委員会 委員 (2024年4月～2025年3月) ・上野原市子ども・子育て会議 委員 (2022年4月～2024年3月) ・上野原市小中学校校長会 会長 (2023年4月～2024年3月) ・上野原市いじめ問題対策連絡協議会 委員 (2023年4月～2024年3月) 		
受賞 ※個人、所属団体		
<ul style="list-style-type: none"> ・日本教育公務員弘済会教育研究論文奨励賞「小学校教職員組織における教師力向上・組織開発モデル構築の試み」(2022年2月) 		